



- ・ 中川真由莉 (東大物性研) 「『非同期サンプリング』を使ったテラヘルツ分光システムの開発」
- ・ Mingxuan Fu (東大理) 「Strange metal and quantum criticality due to entanglement between multipoles and conduction electrons」
- ・ 吉岡晴香 (東大物性研) 「原子状水素吸着 Cu(997)表面におけるギ酸の反応」
- ・ 浦井瑞紀 (東大工) 「NMR を用いた強相関分子性物質の磁性研究」
- ・ 田中のぞみ (阪大レーザー研) 「高強度極端紫外光と物質の相互作用」
- ・ María del Carmen Marín Pérez (東大物性研) 「Functional conversion of light-driven outward proton pump rhodopsin」
- ・ 八木亜樹子 (名大理) 「デンドリマー担体を鍵とした難溶性 $\pi$ 共役ポリマーの合成」
- ・ 松倉里紗 (近大生物理工) 「分子動力学シミュレーションを用いた HSP シャペロンサイクルの解明と新規薬剤の作用機構」

15:00 パネルディスカッション

16:00 終了

本研究会の特色として、パネルディスカッションの実施があります。このパネルディスカッションでは、進路・キャリアパスの選択、研究効率化、ライフイベントとの両立をトピックスとして議論が行われました。

ひとつ残念であったことは、女性研究者の方が産休や育休を取得する際、「研究室が忙しくて大変そうだと取得しづらい」「卒業シーズンだと休暇中も学生と連絡を取り続ける必要がある」ということが往々にして行われている事実を知ったことです。本来、このような休暇は我々が暮ら

す資本主義社会における労働者の権利であり「卒業シーズン等、研究室が忙しいかどうか・代わりの人員を確保できるかどうか」といったことと無関係に行われるべきものです。上司にあたる研究室の主宰者やグループの年長者は率先して環境を整える必要があります。

研究業界において『研究の世界は独特だから』という理不尽な理由でコンプライアンス違反が起きず、研究者の前に労働者として人として当たり前の暮らしが当たり前のようにできる日を願っています。

文責：三輪真嗣

物性研究所量子物質研究グループ

男女共同参画・ダイバーシティ推進委員会 2022 年度委員長



集合写真



